

厚生保健委員会

健康福祉部高齢者福祉課
介護保険課

浜松市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定に伴う実態調査の結果報告について

1 趣 旨

老人福祉法第20条の8の規定等に基づく次期高齢者保健福祉計画及び介護保険法第117条の規定に基づく次期介護保険事業計画を一体的に「はままつ友愛の高齢者プラン」（計画期間：令和3～5年度）として策定するにあたり、高齢者の生活状況や活動状況、超高齢社会に対する意識や介護保険サービスに対する意向などの実態調査を行ったので、その結果を報告するもの。

2 調査対象・回収状況

種 別	対 象 者	対象者 人口(人)	標本数 (対象者 比率)	有効 回収数	有効 回収率
高齢者一般調査	市内在住の65歳以上の人で、 介護認定を受けていない人	178,585	5,000 (2.8%)	2,785	55.7%
在宅要支援認定者 調査	市内在住の介護認定（要支援 1・2）を受けている人（施設入 所者を除く。介護保険サービ ス未利用者を含む。）及び事業 対象者の人	11,157	2,000 (17.9%)	1,040	52.0%
在宅要介護認定者 調査	市内在住の介護認定（要介護 1～5）を受けている人（施設入 所者を除く。介護保険サービ ス未利用者を含む。）	18,866	3,000 (15.9%)	1,477	49.2%
合 計		208,608	10,000	5,302	—

※対象者人口：平成31年4月1日現在

3 調査方法等

- ・抽出方法 介護保険システムから該当者を無作為抽出
- ・基準日 令和元年12月18日現在
- ・調査方法 郵送により実施（自記式）
- ・調査期間 令和元年12月25日～令和2年1月24日

4 調査結果報告書

別冊を添付

5 令和2年度計画策定スケジュール（予定）

時期	内 容
5 月	<u>市議会厚生保健委員会</u> 【報告】実態調査の結果
6 月	第1回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会・第1回介護保険運営協議会 【審議】策定スケジュール、実態調査結果の報告 第1回地域包括支援センター運営協議会 【報告】策定スケジュール、実態調査結果の報告
8 月	第2回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会・第2回介護保険運営協議会 【審議】骨子案 <u>市議会厚生保健委員会</u> 【報告】骨子案
9 月	第3回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会・第3回介護保険運営協議会 【審議】プラン（素案）（サービス量含む） 【報告】パブリック・コメントの実施
10 月	第2回地域包括支援センター運営協議会 【報告】プラン（素案）（サービス量含む） 【報告】パブリック・コメントの実施
11 月	第4回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会・第4回介護保険運営協議会 【審議】プラン（案）、パブリック・コメント実施 <u>市議会厚生保健委員会</u> 【報告】プラン（案）、パブリック・コメント実施
1 月	第5回社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 【報告】パブリック・コメントの実施結果 【審議】プラン(修正案) 第5回介護保険運営協議会 【報告】パブリック・コメントの実施結果 【審議】プラン(修正案)、給付費と保険料設定
2 月	<u>市議会厚生保健委員会</u> 【報告】プラン(修正案)（保険料案含む） パブリック・コメント結果の公表 第3回地域包括支援センター運営協議会 【報告】パブリック・コメントの実施結果、プラン(修正案)
3 月	プラン決定（報告書完成・配布）

高齢者一般調査 (65歳以上、介護保険認定外)

性別
2,785人

男性 1,265人 45.4%	女性 1,520人 54.6%
-----------------------	-----------------------

年齢別
2,785人

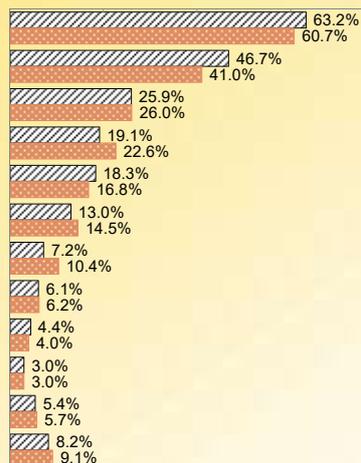
65~69歳 701人 25.2%	70~74歳 801人 28.8%	75~79歳 650人 23.3%	80~84歳 396人 14.2%	85歳~ 237人 8.5%
-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	----------------------

ほぼ 高齢者の現状どおりの標本特性

心配ごとや悩みごと

高齢者一般 単純集計
前回調査との比較
令和元年度 N=2,785
平成28年度 N=3,189

令和元年度
平成28年度



※複数回答
(3つまで)

自分の健康のこと

家族の健康のこと

地震や風水害など災害時の対応のこと

生活費など経済的なこと

配偶者に先立たれた後の生活のこと

家の老朽化など、住んでいる家に関すること

病気などのとき、面倒をみてくれる人がいないこと

孤独（ひとり暮らしなど）になること

家族や友人との人間関係のこと

趣味や生きがいがないこと

その他、無回答

心配事はない

◆自分や家族の健康に関することが上位に位置づけられているとともに、順位についても前回調査とほぼ同じ状況である
⇒ 健康への関心は高く、今後も健康を維持・増進するための施策の継続が必要

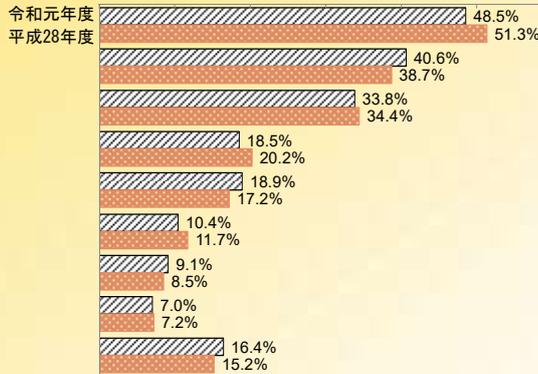


健康への関心

高齢者一般 単純集計
 前回調査との比較
 令和元年度 N=2,785
 平成28年度 N=3,189

健康について知りたいこと

※複数回答
 (3つまで)



- 認知症の予防
- がんや生活習慣病予防の工夫
- 望ましい食生活
- 寝たきりや介護の予防
- 運動の方法
- 健康診断・各種検診の内容や受け方
- 歯の健康
- うつ病の予防
- その他、無回答

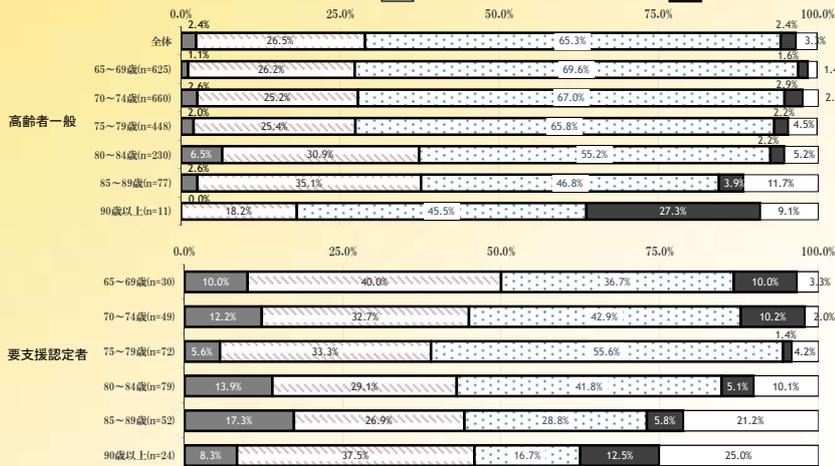
◆「認知症予防」への関心が、前回と同じく第1位
 がん・生活習慣病予防、食生活等への関心度も上位に位置づけられている
 ⇒認知症予防など関心事項に関する適切な情報提供の必要性



免許返納に対する考え

高齢者一般 N=2,051
 在宅要支援認定者 N=306
 単純集計

返納したい（返納の時期が決まっている）
 返納は考えていない
 返納したい（時期は未定）
 その他
 無回答

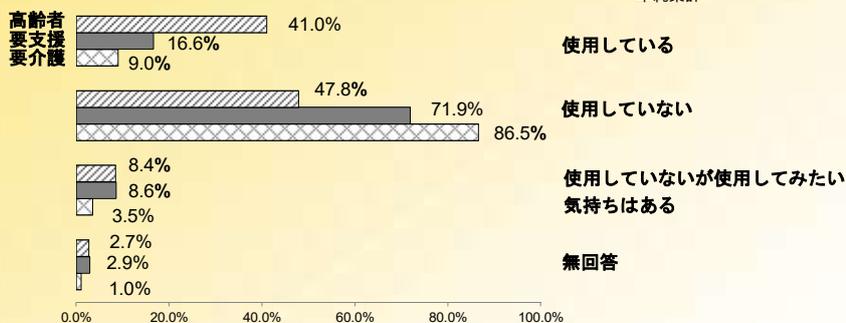


◆年齢が高いほど返納してもよいと考える傾向
 ⇒高齢者への自家用車に代わる移動手段の確保が必要

スマートフォンの使用状況

スマートフォンの使用有無

高齢者一般 N=2,785
 要支援認定者 N=1,040
 要介護認定者 N=1,477
 単純集計

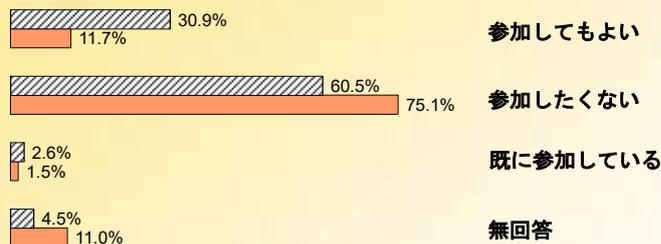


- ◆ 「使用している」の割合は高齢者一般が4割、要支援認定者が2割弱となっている
 - ◆ 「使用していないが使用してみたい気持ちはある」の割合は高齢者一般、在宅要支援認定者とも1割弱
- ⇒ 高齢者のスマートフォン利用の増加を見込み、スマートフォンを利用した在宅福祉サービスの必要性を検討

地域住民による支え合い活動

高齢者 1.6%
 要支援 0.7%

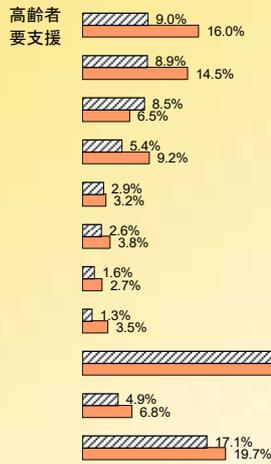
高齢者一般 N=2,785
 在宅要支援認定者 N=1,040
 単純集計



- ◆ 高齢者一般で「是非参加したい」「参加してもよい」が3割を超えている
- ⇒ 支え合い活動の潜在的な担い手が確認できたため、活動につながるマッチング手法の検討が必要



支え合い活動で利用したいサービス



病院などへの送迎

清掃(ゴミ出し含む)

交流や運動などの集いの場の運営

買物や薬の受取り

一般的な調理や配下膳

洗濯

衣類の整理や被服の補修

寝具のカバー交換

利用したいものはない

その他

無回答

高齢者一般 N=2,785
在宅要支援認定者 N=1,040
単純集計

- ◆高齢者一般、要支援認定者ともに「病院やスーパーなどへの送迎」の利用希望が多い
⇒ 地域住民による支え合いを主体としつつ、公共交通部門を交えた全庁的な検討が必要



補聴器使用の有無



使用している

使用していない

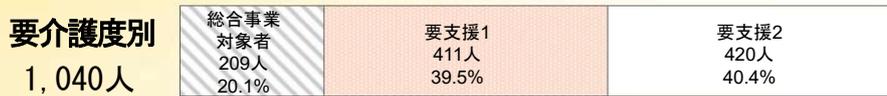
使用していないが必要と感じる

無回答

高齢者一般 N=2,785
在宅要支援認定者 N=1,040
在宅要介護認定者 N=1,477
単純集計

- ◆要支援、要介護認定者では「使用している」が1割を超えている
- ◆要介護で利用率が減少するのは、認知症等を発症し補聴器を外す方がいるためと考えられる
⇒ 「使用していないが必要と感じる」方への支援の必要性を検討

在宅要支援認定者調査 (施設入所者除く)



在宅要介護認定者調査 (施設入所者除く)

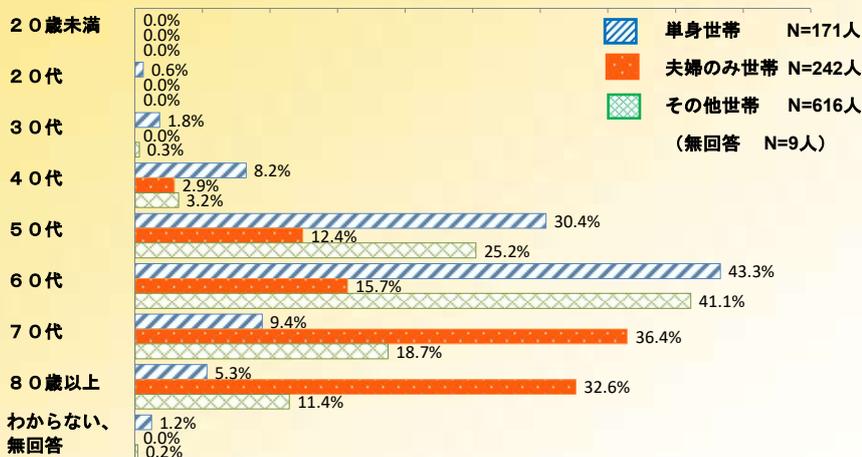




主な介護者の年齢

在宅要介護認定者
家族構成別クロス集計
N=1,038

家族・親族（同居していない子供・親族含む）からの介護がある人へのみの回答

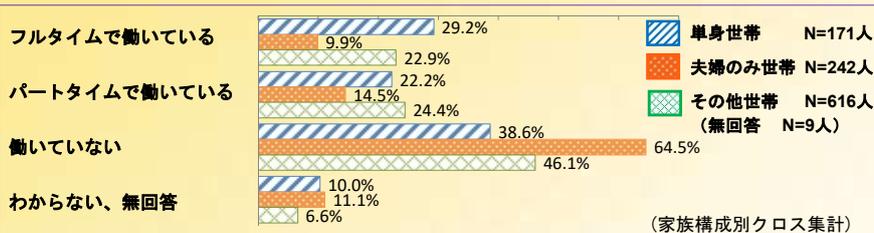


- ◆単身世帯は50～60歳代が多い（60歳代が43.3%）
- ◆夫婦のみ世帯は70～80歳以上が多い（70歳以上が69.0%）

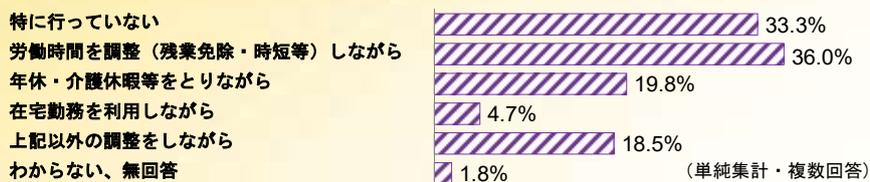


主な介護者の勤務形態

在宅要介護認定者
N=1,038



介護のための働き方の調整



- ◆主な介護者のうち、単身世帯またはその他世帯では50%前後の方が働いている
- ◆夫婦のみ世帯では働いていない介護者の割合が高い
- ◆働いている介護者の7割弱は、何らかの働き方の調整をしている

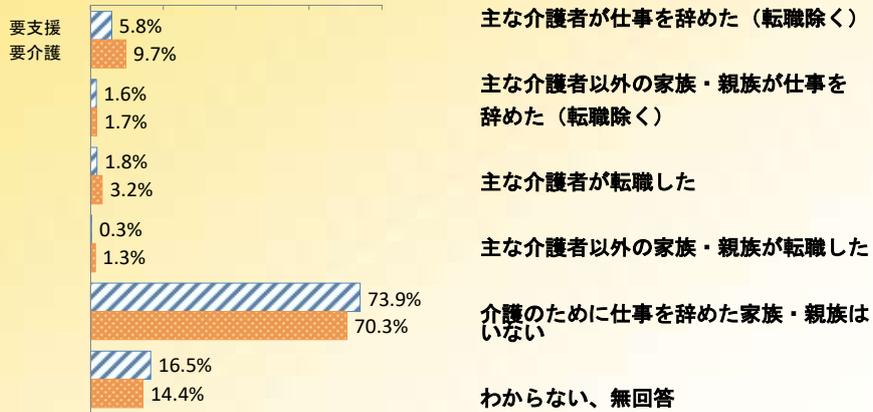


介護のための離職

在宅要支援認定者 N= 380
在宅要介護認定者 N=1,038
単純集計

家族・親族で過去1年間に仕事を辞めた人

※複数回答
(いくつでも)



◆過去1年間に、在宅要介護認定者の介護者や家族・親族で仕事を辞めた人は約1割
⇒ **介護のために離職する人を減らすための施策の必要性**

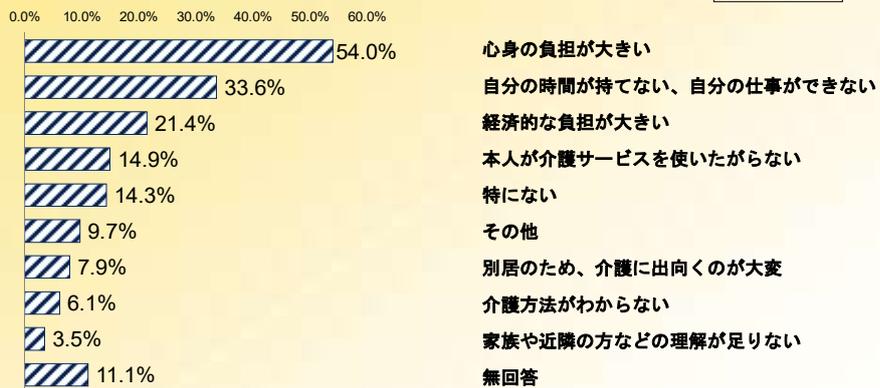


介護者の困りごと

在宅要介護認定者 N=1,038
単純集計

介護する上で困っていること(介護者)

※複数回答
(3つまで)



◆介護者の半数以上が「心身の負担が大きい」と感じている
⇒ **介護者の負担感を軽減する施策の必要性**
適切なサービス利用の啓発、情報提供の必要性

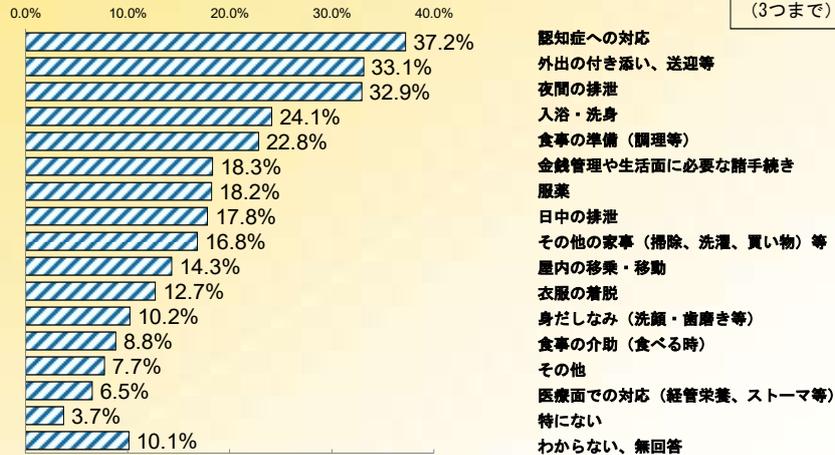


介護者が不安に感じる介護

在宅要介護認定者
単純集計 N=1,038

現在の生活を継続するにあたっての不安

※複数回答
(3つまで)

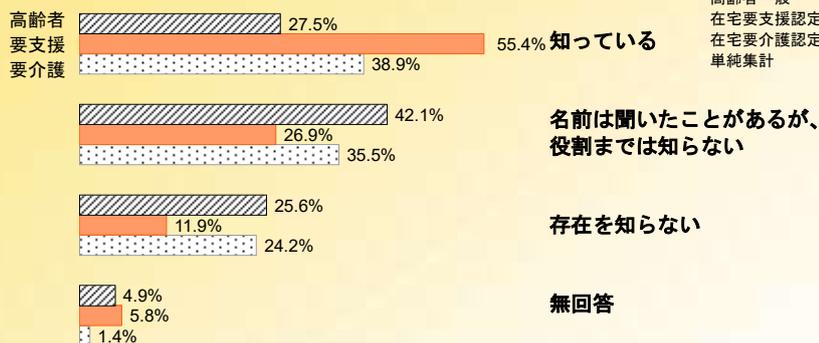


◆認知症への対応、外出の付き添い・送迎、夜間の排泄等が高い傾向にある
⇒ 不安解消に有効なサービスの提供や認知症施策の推進等の必要性



地域包括支援センターの認知度

高齢者一般 N=2,785
在宅要支援認定者 N=1,040
在宅要介護認定者 N=1,477
単純集計

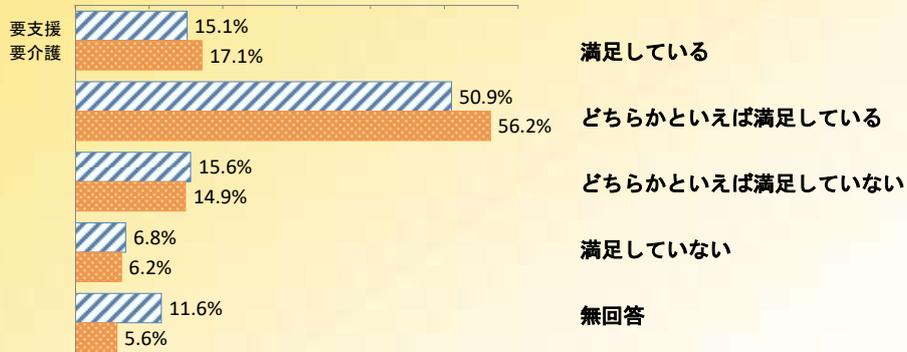


◆要支援、要介護認定者では「知っている」「名前は聞いたことがあるが、役割までは知らない」の合計は約8割となっている
◆高齢者一般では、認知度に変化がない
「知っている」 前回 23.8% → 今回 27.5% (+3.7ポイント)
「名前は聞いたことがあるが…」 前回 46.4% → 今回 42.1% (△4.3ポイント)
⇒ 地域包括支援センターの認知度向上に向け、一層の周知を図っていく



介護保険制度の満足度

在宅要支援認定者 N=1,040
在宅要介護認定者 N=1,477
単純集計



◆「満足」「どちらかといえば満足」の合計は、要支援 66.0%、要介護 73.3% と高い状況（要支援より要介護の満足度が高い）

⇒ 制度への満足度は高い状況

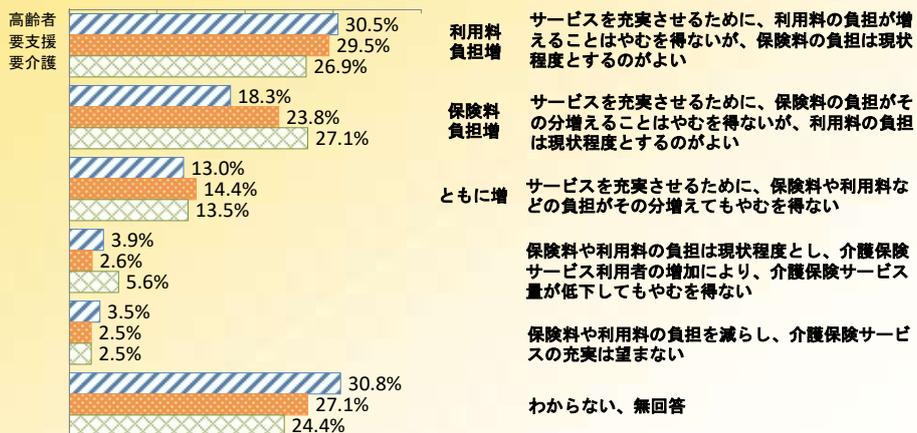
今後も利用しやすい環境等に配慮し、満足度の高いサービス提供を目指す



介護保険サービスの充実

高齢者一般 N=2,785
在宅要支援認定者 N=1,040
在宅要介護認定者 N=1,477
単純集計

介護保険料と利用料の費用負担のあり方



◆全体的に負担増があってもサービスの充実を希望している人が多いが、一方少数ではあるが保険料や利用料の負担を減らし、サービスの充実を望まない声もある

⇒ 保険料設定の参考